

登別市内刑法犯認知件数

刑法犯総数			
区分	平成17年	平成16年	増減
重要犯罪	4	4	0
粗暴犯	5	15	- 10
窃盗犯	376	529	- 153
知能犯	19	9	10
風俗犯	1	0	1
その他	80	54	26
総数	485	611	- 126

各年の件数は、それぞれ1月から10月末までの件数です（登別交番提供資料）。

重要犯罪：殺人や強盗など。

粗暴犯：暴行や傷害など。

窃盗犯：空き巣や自転車盗難、車上ねらいなど。

知能犯：詐欺や業務上横領など。

その他：器物破損や住居侵入など。



児童の下校に同伴する美園・若草地区連合町内会の皆さん



係で、警察から『不審者が多発しています』との連絡があり、とにかく子どもたちの安全を守らなければと思ったのがこの取り組みを始めるきっかけでした」と話すのは美園・若草地区連合町内会事務局長の木村三郎さん。



木村三郎さん

美園・若草地区連合町内会では不審者から子どもたちを守ろうと今年の4月から、月2回、若草小学校の児童の下校に同伴する取り組みを始めたそうです。

また、10月にはこの取り組みが、地域ぐるみで子育てに取り込む団体を対象とした、市の『せわやき・せわすき隊』に登録されました。

「子どもたちの下校に同伴するようにになってからは、不審者などの出没はなくなりました。この取り組みは、月2回、若草小学校の学区にある若草・若草第2・美園・美園南・旭丘町内会の会員が1・2年生の下校時に合わせて各地区ごとに一緒に帰っているんですよ。子どもたちとは、学校での出来事などいろいろなことを話します。子どもたちと話するのは楽し

いですね。保護者の皆さんからは『苦労さまです、とねぎらいの言葉を掛けられ、やりがいもあります。このような取り組みが全体的に広がる、犯罪の抑止力にもなり、安心して暮らせるまちになるのではないのでしょうか』

防犯に対する意識を高く持ちましよう

「登別市内では、犯罪の件数は昨年と比べると減少しているんですよ」と話すのは登別交番係長の佐藤安則さん。



佐藤安則さん

「犯罪は、警察の取り組みだけではなかなか減少しません。警察のパトロールにも限界があります。市民の皆さんや関係団体からの情報提供があつて初めて効果的なパトロールができます。地域規模の防犯に対する取り組みは犯罪を少なくし、犯罪の抑止力にもなります。安全で安心して暮らせるまちにするため、わたしたち警察もパトカーや制服を着てのパトロールなど、24時間体制で警戒しています。小さな情報から大きな事件解

決の糸口になることもありますので、何かあれば連絡してください」と話す佐藤さんは、「自分だけは被害に遭わないだろう。うちだけは泥棒に入られないだろう。ちょっとした外出だから鍵を掛けなくても大丈夫だろう。などの『だろう』という考えや思い込みが被害をもたらす原因の一つでもあります。犯罪は、自己で防止する考えがなければ防げません。つまり、犯罪を助長する行為を一つでもなくすることが犯罪防止につながります」と犯罪の被害に遭わないためのアドバイスもしてくれました。

地域ぐるみの取り組みが重要

一連の防犯に対する取り組みの取材を終え、登別交番の佐藤さんも言われてきましたが、『水と安全はタダ』と言われてきた時代は終わったのではないのでしょうか。

犯罪を減少させるには、市民一人ひとりが防犯に対する意識を高く持ち、犯罪を未然に防ぐ取り組みや犯罪を行いやすい環境をつくらないことが重要であること、また、個人ができる防犯対策には限界があることから、地域住民による声掛けなどのコミュニケーションを活発化させ、地域ぐるみで対策を取ることの重要性が分かりました。

あなたも市民リポーターになって、市内の話題やまちの動きなどをリポートしてみませんか。平成18年度市民リポーターについての申し込み・問い合わせは情報推進グループ（☎856586）まで。